

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 445 号	氏名	相良 祐次
学位審査委員	主 査	下川 功	
	副 査	増崎 英明	
	副 査	中尾 一彦	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、膀胱癌の発生や進展、浸潤における緑茶ポリフェノール (GTP) の抑制効果を実験的に検証しようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 抗腫瘍効果が期待される GTP に着目し、マウス化学発癌モデルを用いて、膀胱腫瘍の発生頻度や体積、腫瘍内血管の密度を評価した研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、GTP 投与群は、膀胱癌の発生頻度には影響はないが、腫瘍の増大を有意に抑制すること、腫瘍体積と腫瘍内血管密度が相関することを明らかにした。今後、GTP の抗腫瘍効果の分子メカニズムの解明が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は膀胱癌の発生と治療に関する研究に貢献するところが大であり、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			